



1 SD474完掘 (北→) SD390・394はさらに掘り方が変わりSD474となる。



2 SD474完掘 (南→)



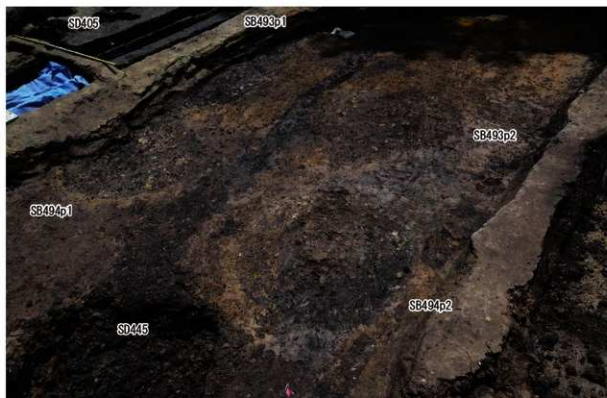
3 SD393・435完掘 (南→)



4 SD436完掘 (南→)



1 SD445精査（北西→） 中土橋門古段階の柱間を通る。



1 SD445検出 (北西→) 中土橋門古段階の柱間を通る。



2 SD445断面 (南→) 途中でA・B2条に分離。



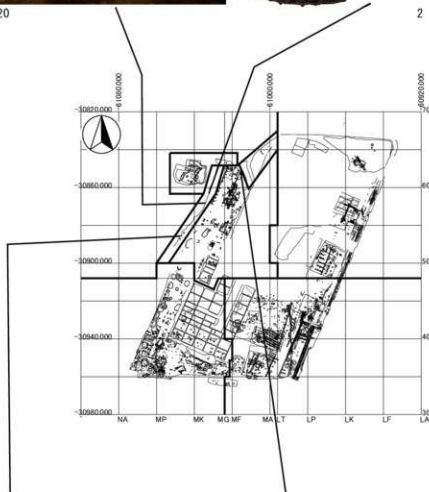
3 SD445完掘 (北→)



1 SA28・SD20



2 SF01土壘断面



3 SA131



4 SD20精査(北→)



1 SF01土塁西部分調査前 (北東→)



2 SF01土塁北西部分調査前 (南→)



3 SF01土塁西部分調査前 (北→) この地点より南側の土塁・樹木は保存区域であり未調査。



4 SF01土塁西-北西部分 (南→)



5 SF01土塁西部分 (北→)



6 SF01土塁西部分 (北→)



7 SF01土塁西側穴門近く (西→)



8 SF01土塁西部分 (南→)  
土塁裾が和洋女子高校舎に合わせて切られる。vb



1 SB02横出(北→)



2 SB02p1礎石



3 SB02p3礎石



4 SB02p4礎石



5 SB02p5礎石



1 SA21精査 (南→)



2 SA21p1断面 (南→)



3 SA21p3断面 (南→)



4 SA131p2断面 (北→)



5 SA131p4断面 (南→)

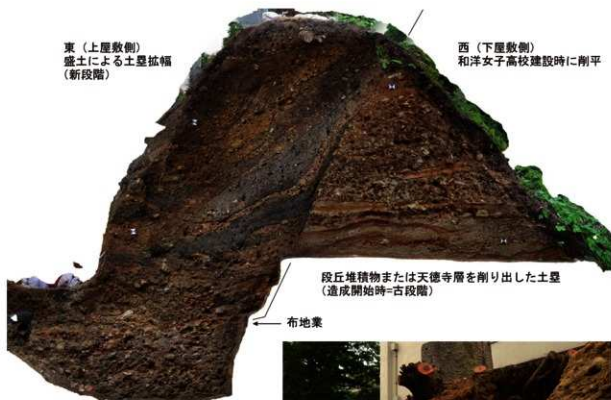


1 SA131完掘 (北→) 段丘堆積物の砂礫層を削り出した土塁頂部に設けられる。



2 SF01保存範囲との境界に設定した第6トレンチ (東→) 写真左側のケヤキは保存樹である。ケヤキ右側の鞍部が保存境界。調査区側は地山を削り出した土塁であるが、保存区域側は盛土の可能性が高い。切られたケヤキの根には樹木医が治療を施した。





1 SF01土壘断面 第7トレンチ南面 (北→)



2 SF01土壘断面 (北→) 盛土部分の版築



3 SF01土壘断面 (北→) 盛土部分下部の布地業



1 SF01土壘断面 第6トレンチ北面(南→)  
明治時代以後の積み直し



2 SF01土壘断面 第3トレンチ北面(南→)



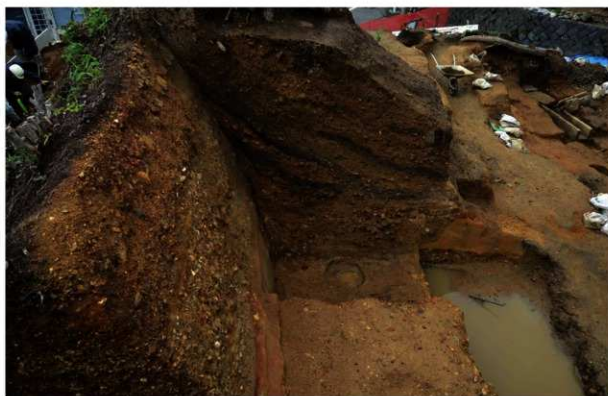
3 SF01土壘断面 第6トレンチ南面(北→)



4 SF01土壘断面 東面(東→)  
土壘断面



1 SF01土壘第5 トレンチ北側断面と切土東面 (南東一)



2 SF01土壘第5 トレンチ北側断面 (南一) 盛土部分下側に布地業の掘り込みが見える。



1 SF01土壘北西部分南断面 (北→)



2 SF01土壘北西部分北西断面 (南→) 基盤部分のみ江戸時代。土壘上部削平後にゴミ穴や植栽の攪乱を受ける。



1 S007検出(北東→) SF01表土下から検出。



2 S020検出(西→) 写真1にあるS007の下1.5~1.8mで検出。



1 SD20精査(南一) 土壘盛土部を除去して検出。先に調査したS007と同じ蓋石が並ぶ。



2 SD20精査(西一)



1 SD20精査(西一) 蓋石を一部除去。後述のSB305附属SDと同じ造り。



2 SD20精査(東一)



1 SD20精査(北→)



2 SD20精査(南→) 北端は佐竹小路に向かう通路に突き当たって途切れる。



3 SD20精査(南→) 石製U字溝を除去。



4 SD20完掘(南→) 素掘り溝が調査区北西側を南北に走る。



5 SD20完掘(北→)





1 SA28・SD20完掘(南東→) 人が立っているところがSA28の柱穴、SD20は人の足下。



2 SA28・SD20完掘(南→) ピンボールがSA28の柱穴。SD20は土塁裾とSA28の間に一部残る。



1 SA28・SD20検出(南→) 盛土土壘下の布地業を掘り込んでいる。SD20の右側にSA28の柱穴が黒く見える。



2 SA28検出、SD20精査(南→)



1 SA28柱穴断面(南一) 盛土土壘下の布地業を掘り込む。



2 SA28柱穴断面(南一) 盛土土壘下の布地業を掘り込む。



1 SA28・SD25発掘 (北→)



2 SA28・SD25発掘 (東→)



1 SF01土壘北西屈曲部末端(南一) 画面左上に穴門の標柱があり、佐竹小路屈曲部を塞いで穴門が設けられていたと推定。土壘は切土。土壘東側裾にS025が見える。穴門関連遺構は後述。



2 SF01土壘北西部分末端盛土下の遺構検出状況(南一) 基盤部は盛土土壘造成以前。切土で土壘を形成した遺宮初期の遺構群を盛土土壘が覆う。写真1はこれらの盛土土壘を除去した後の様子。



1 SF01土壘北西部分末端盛土下の遺構検出状況(西→) 写真上、中央にSD25の一部が見える。基盤部は、盛土土壘造成以前の布地業。



2 SF01土壘北西部分末端盛土下の遺構検出状況(南東→) 基盤部は盛土土壘造成以前の布地業。切土で土壘を形成した造営初期の遺構群を盛土土壘が覆う。



1 SF01土壘北西部分末端盛土下SD25など検出状況(西→) 基盤部は盛土土壘造成以前。



2 SF01土壘北西部分末端盛土下SD25など精査(南東→) 基盤部は盛土土壘造成以前。切土で土壘を形成した遺構初期の遺構群を盛土土壘が覆う。



1 SD25精査(南→) 写真右のブルーシート下にSD20末端の石組じ字溝がある。



2 SD25断面(南→) 段丘堆積物または天徳寺層の砂礫層を掘り抜く。





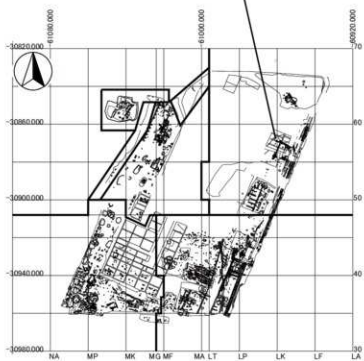
1 SD25精査 (北→)



2 盛土土壘下SK12他検出 (南→)



1 SB305

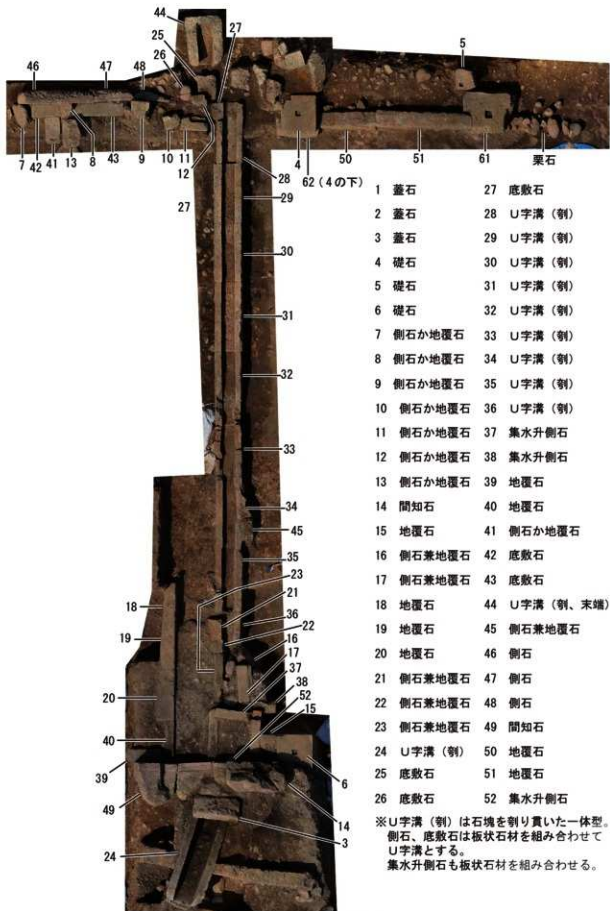




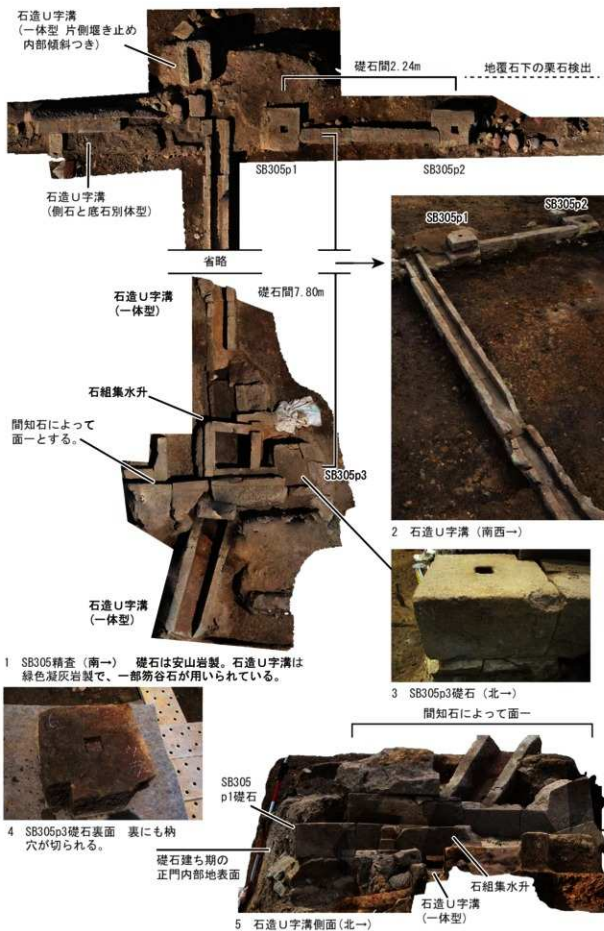
1 SB305精査 (南→) 写真右に広く焼土が分布する。礎石・石造U字溝の下層から検出。礎石化以前の柱穴も所々見える。

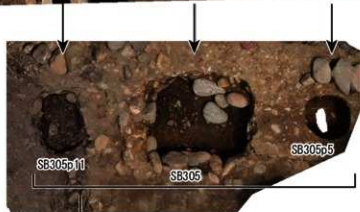


2 石造U字溝側面 (東→)



1 SB305精査 (南→) 建物を構成する石造物の種類。





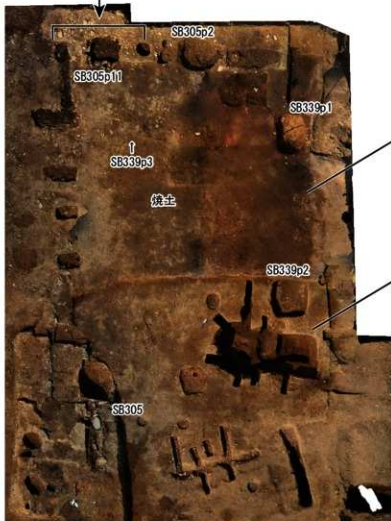
1 礎石・地覆石・石造し字溝除去後に現れた柱穴と礎石の掘穴 (南→)



3 焼土核出作業 (南→)



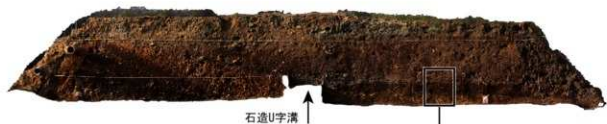
4 焼土 (南→)



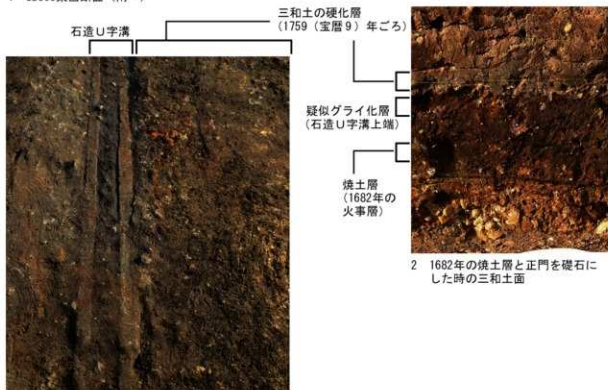
2 石造施設除去後 (南→) 石造施設下及び、焼土下から柱穴検出。



5 焼土下柱穴 (東→)



1 SB305東西断面 (南→)



2 1682年の焼土層と正門を礎石にした時の三和土面

3 石造U字溝と三和土面



4 石造U字溝と焼土面 (南西→) 焼土面は三和土面を除去した後に現れた。



1 SB305p1 (南→)



2 SB305p1精査 (南→) 礎石 2 段あり。



3 SB305p2 (西→)



4 SB305p2精査 (西→) 地覆石との連結。



5 SB305p2精査 (南→) 地覆石との連結。



6 SB305p2精査 (北→) 地覆石下の栗石。



7 SB305p2精査 (南→) 地覆石下の栗石。



8 SB305p3と集水枡 (東→)





1 SB305p3礎石の台石 (北→)



2 SB305p3礎石の台石 (東→)



3 SB305集水枡精査 (北東→)



4 SB305集水枡断面 (東→)



5 SB305集水枡内面 (北→) L字形の石材を用いて入水口を作る。



6 SB305集水枡入水口層位 (北→) 入水口に詰まる土砂は上層が粗く下層が細かい。



7 SB305集水枡精査 (東→)



8 SB305集水枡精査 (東→)



1 SB305集水枡内面 (北→)



2 SB305石造U字溝検出 (西→)



3 SB305石造U字溝精査 (北→)



4 SB305石造U字溝精査 (東→)



5 SB305石造U字溝上の間知石 (北→) 壁面を形成して面一となる。



6 SB305石造U字溝上の間知石 (北→)



7 SB305石造U字溝上の間知石 (北→) 写真5・6の右側に組まれる。



8 SB305石造U字溝上の間知石 (北→) 写真7の上面観。



1 SB305石造U字溝上の間知石を除去 (西→)  
U字溝の側壁は間知石の側面形に合わせて整形。



2 SB305石造U字溝精査 (南→) 北側傾斜に設置されたU字溝。手前側の側石は失われていた。



3 SB305石造U字溝精査 (南→)



4 SB305石造U字溝連結部 東西U字溝と南北U字溝を繋ぐ部分。連結部側壁が切られる。



5 SB305地覆石精査 (南→) 礎石p1とp2を連結する地覆石側面。下に栗石をかませる。



6 SB305地覆石小口面 地面に露出する上面が長方形であれば、断面形が三角形でも使う。



7 SB305地覆石 小口に納穴が切られる。全て雌なので連結には木製の契りを使ったと推定。



8 SB305石造U字溝 (南→) 北端のU字溝。内部底面は南に向かって傾斜する。



1 SB305p1礎石掘穴検出 (南→)



2 SB305p1断面 (南→)



3 SB305p1完掘 (南→)



4 SB305p2礎石掘穴検出 (南→) 焼土面を切る。



5 SB305p2断面 (南→)



6 SB305p2完掘 (南→)



7 SB305p3礎石掘穴検出 (北東→) 栗石検出。



8 SB305p3断面 (東→)



1 SB305p10礎石掘穴検出 (北東→)



2 SB305p10断面 (南→)



3 SB305p10完掘 (南→)



4 SB339p1礎石検出 (南→) 焼土面を切る。



5 SB339p1礎石掘穴精査 (南→)



6 SB339p1断面 (南→) 栗石検出。



7 SB339p1完掘 (南→)



8 SB339p2検出 (南→)



1 SB339p2断面 (南→)



2 SB339p2精査 (南→) 柱痕跡核出。



3 SB339p2完掘 (南→)



4 SB339p7断面 (東→)



5 SB339p7完掘 (東→)



6 SB339p6検出 (南→)



7 SB339p6断面 (南→)



8 SB339p6完掘 (西→)



1 SB509p1精査 (北→) 柱材検出。



2 SB509p1精査 (北→) 鹿面炭検出。



3 SB509p1完掘 (西→) 中土橋通りを造成した版築を切って、SB509p1・2、SB510p2が並ぶ。



4 SB509p2精査 (北→) 角柱検出。



5 SB509p2完掘 (北→)



6 SB509p2完掘 (北→) 版築層ごと断ち割り。



7 SB510p3精査 (東→) 柱材検出



1 SB510p3断面 (東→)



2 SB510p3精査 (東→) 底面様検出。



3 SB510p2・3間精査 (東→) 柱穴間から部材出土。



4 SB510p3完掘 (東→)



5 SB511p6完掘 (東→)



6 SB511p7断面 (東→)



7 SB511p3完掘 (南東→)

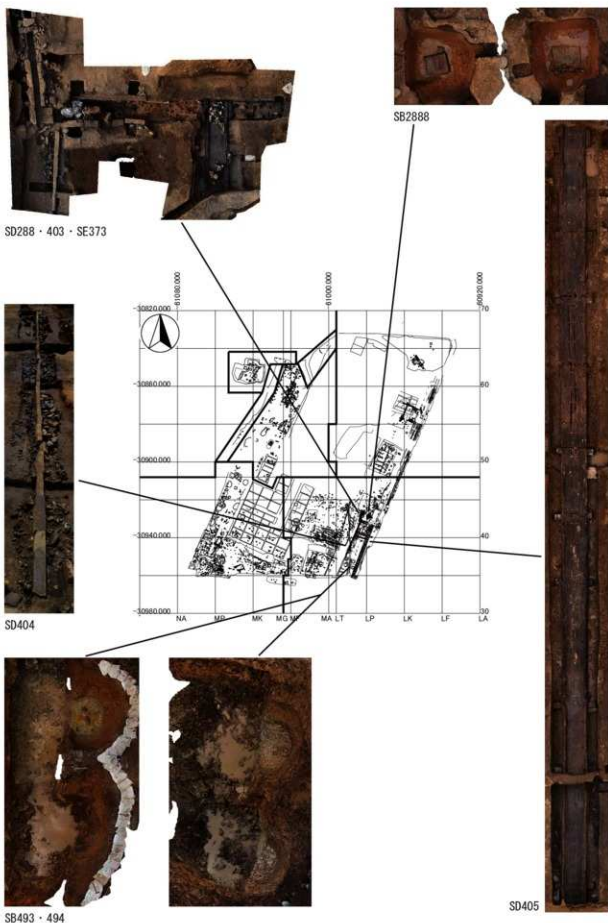




1 SB305石造施設取り上げ後(西→) 中土橋通りに面した「前門」であるSB509・510と正門SB305は桁行中心軸がずれている。写真中央上に見える道路は、江戸時代にはなく、洪江家の向かいは梅津家の屋敷である。



2 SB305地下の断面(南→) 中土橋通りから「前門」をくぐって1.5~1.8m上がって正門。正門をくぐった後、さらに1m弱上がって上屋敷敷地である。敷地造成の盛土は1番深いところで4m近い。





1 上屋敷正門と中土橋門枳形(北西一) 写真左に正門石造集水升、写真中央にSB殿状建物が写る。写真中央奥に写るの現場入口シャッターの敷設位置が、旧県立美術館からのびる土塁の末端と重なる。



2 中土橋門枳形(南一) 写真中央に写るSD445を面する地覆石列が、流江家敷地と中土橋通りの境界となる。写真右の現場入口シャッターの敷設位置が、旧県立美術館からのびる土塁の末端と重なる。写真左の黒色土上にある短い溝群は、流江家造成直前まで営まれた細跡SD433・466。



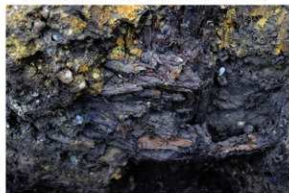
1 旧県立美術館の土壁と土留柵 (西→) 旧県立美術館からのびる土壁の末端を土留めする杭列=土留柵を抜出。



2 旧県立美術館の土壁と土留柵SA430 (北→) 土壁の末端を土留めする杭列=土留柵を抜出。



3 SA430精査 (北西→) 中土橋通り造成の版築もほぼ同時に行っている。



4 土留柵を結束するツタ (西→)



5 土留柵を結束するツタ (西→)



1 SB493・494検出(南→) 中央の溝は平安期のSD445。



2 SB493・494検出(西→)



1 SB493・494完掘 (南→)



2 SB493・494完掘 (南→)



3 SB493断面 (西→)



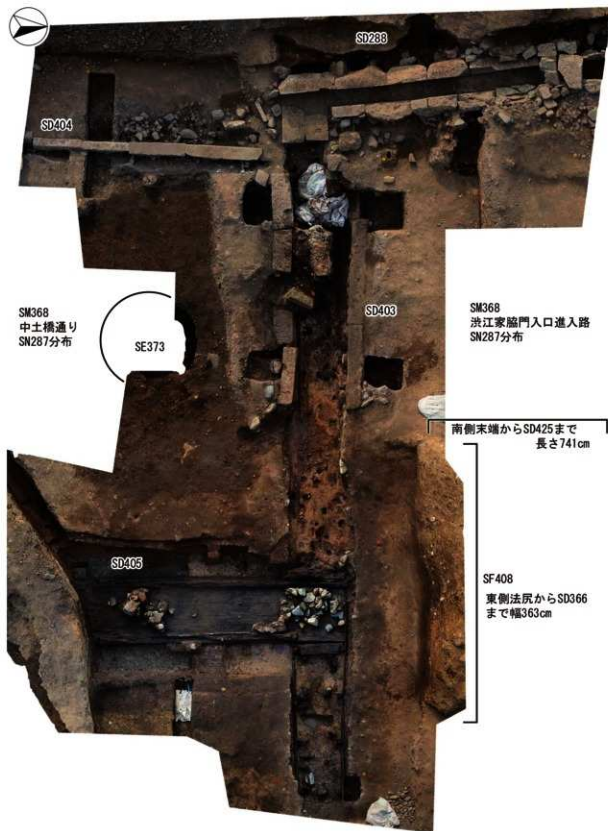
4 SB494断面 (西→)



5 SB495断面 (西→)



6 SB496完掘 (西→)



SM368  
中土橋通り  
SN287分布

SE373

SD288

SD404

SD403

SM368  
渋江家脇門入口進入路  
SN287分布

南側末端からSD425まで  
長さ741cm

SD405

SF408  
東側法尻からSD366  
まで幅363cm

-----  
渋江家東辺を南下するSD428が  
SD403と連結  
-----

- 1 渋江家脇門入口(東→) 中土橋通りから渋江家への入口。SD228・403・404・405、SE373、SF408等で構成される。SN287が断続的に分布している。写っていないがSD428がSD403と連結する。



1 中土橋門枅形と洪江家脇門（北西→） 洪江家内側から枅形を見る。

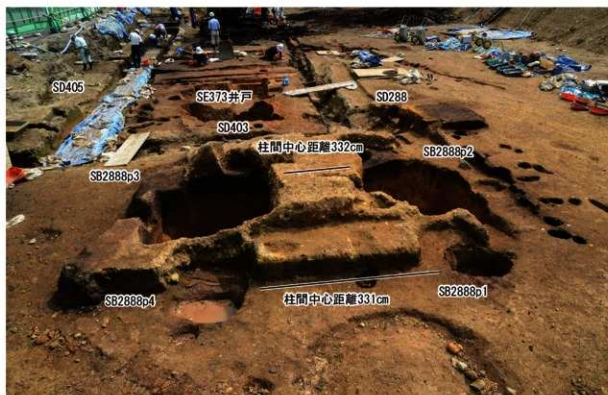


2 上屋敷脇門（北→） 脇門の側溝SD288も石造となる。SD404地覆石とSD405木樋で挟まれた幅6m、長さ30mが中土橋通り枅形である。脇門入口前にSE337が設けられる。

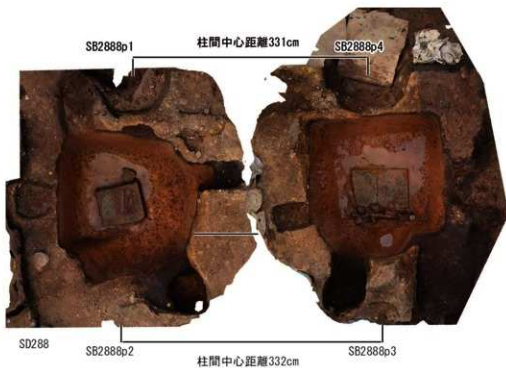




1 洗江家脇門（南一） 中土橋通りから洗江家脇門入口のスロープを見る。調査のため階段状に掘っているが、当時はスロープだった。SD403より手前が中土橋通り。撮影時には調査が終了して残っていないが、写真右側には小土壘SF408があった。



2 上屋敷脇門（北一） SB2888脇門の柱穴を完掘した。SB2888は石造化した排水溝SD228より古い。底面に巨大な礎石を敷いていた。



- 1 洪江家脇門 (南→) 排水溝SD288の石造化に伴い建て替えた脇門の上面観。  
SB2888の柱穴底面には板状礎石が敷かれており、掘り方も方形で大きい。



2 SB288p2断面 (南→)



3 SB288p3精査 (南→) 底面礎石。



4 SB288p1完掘 (北→)



5 SB288p4完掘 (北→)



1 渋江家脇門SB402p1・p4（南西→）  
中土橋通りに面する。



2 渋江家脇門SB402p1・p4（北東→）



3 渋江家脇門SB402p1礎石（南西→）



4 渋江家脇門SB402p1礎石除去（南西→）  
礎石下から栗石検出。



5 渋江家脇門SB402p2・p3断面（北東→）



6 渋江家脇門SB402p2・p3精査（北東→）



7 渋江家脇門SB402p2礎石除去（北東→）  
礎石下から栗石検出。



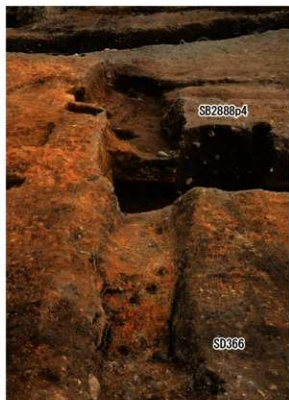
8 渋江家脇門SB402p2・p3完掘（北東→）  
礎石中心間距離は600cm。



1 SF408とSA410（北→） 洗江家脇門を構成する土壘SF408とSA410。SF408法尻をSD366が画する。



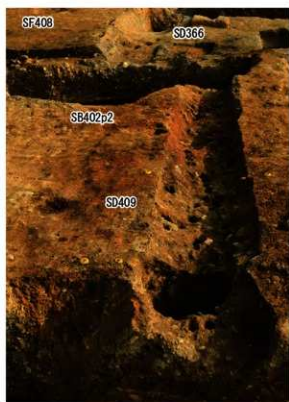
2 SF408断面（南→） SF408南末端を断ち割る。旧地表の黒色土上に地山由来の黄褐色土を盛土する。



1 SD366完掘 (北→) 脇門SB1978p2の東側を通る。この面ではSB2888p3は未検出。



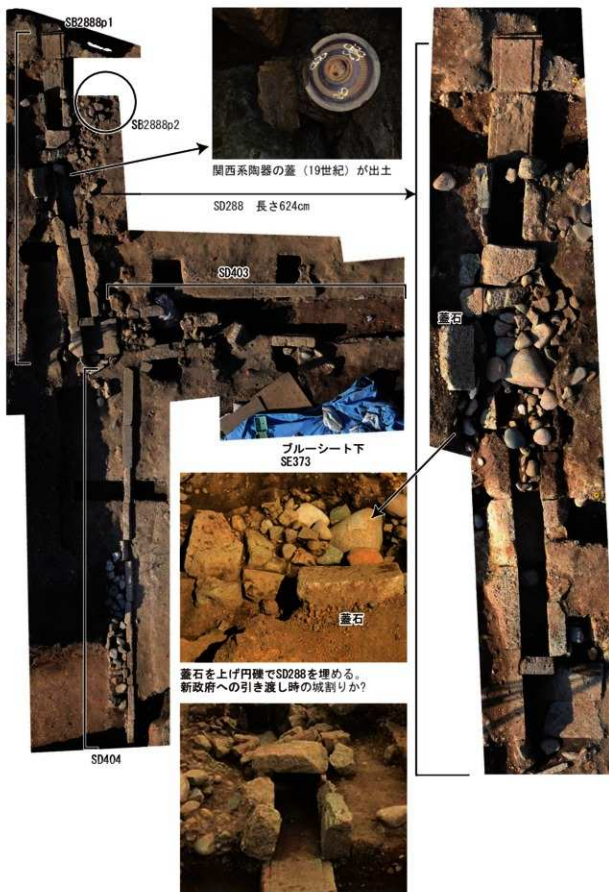
2 SD409検出 (南→) 脇門SB402p2の西側を通る。



3 SD409完掘 (北→) 脇門SB402p2の西側でSD366と食い違う。SD366の東側がSF408。



4 SD228・404精査 (南→) 中土橋通りの枡形西側を区画するSD404と洗江家脇門入口のSD288・403。



関西系陶器の蓋 (19世紀) が出土

SD288 長さ624cm

SD403

ブルーシート下  
SE373

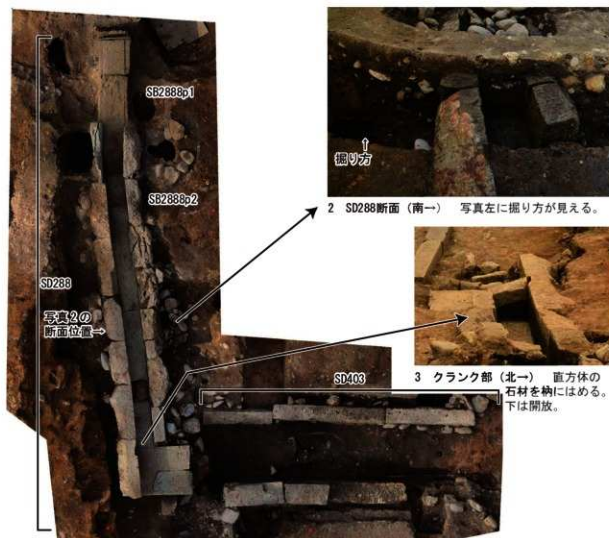
蓋石

蓋石を上げ円礎でSD288を埋める。  
新政府への引き渡し時の城割りか?

SD404

北側から見た蓋石・側石・底敷石の組み方。

1 SD288・403 (南→) 洪江家脇門を構成する石造排水溝。中土橋通りを区画するSD404・405に連続。



1 SD288・403精査 (南→) 蓋石、堆積物を取り除いた。SD403は側石のみで底敷石はない。

2 SD288断面 (南→) 写真左に掘り方が見える。

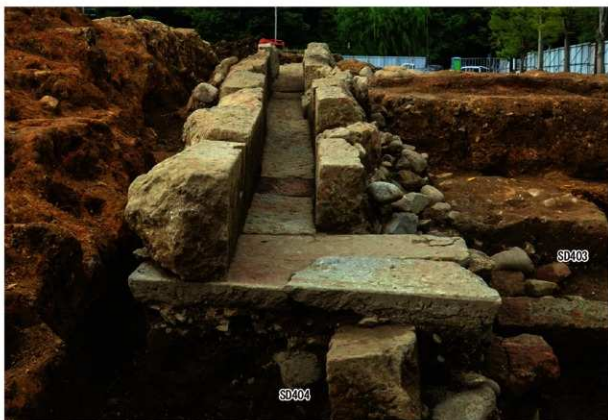
3 クランク部 (北→) 立方体の石材を納にはめる。下は開放。



4 SD288・403精査 (南→)



1 SD288精査（北→）



2 SD288精査（南→） SD288の基数石がSD404の地覆石の上に乗る。





1 SD288精査 (東→)



2 SD288精査 (東→)



3 SD288精査 (南東→)



4 SD288精査 (東→) 写真2・4の砕けた側石。



5 SD288精査 (南→) SD288の側石を取り除き、  
底敷石を露出した。



6 SD288精査 (南→) 写真2・4の位置のみ側  
石が砕ける。



7 SD288精査 (南→) 底敷石には工具痕が残る。



1 SD403精査 (西→) SD288からSD403・404・405を見る。



2 SD403精査 (西→) SD288の底敷石を取り除き、SD403との連結部の下部構造を露出した。



1 SD288完掘(南→) 底敷石を除去。SD403の側石、SD404の地覆石が露出した。



2 SD288・403連結部精査(北東→)



3 SD288・403連結部断面(東→) 雑多な大きさの石を充填して下部構造とする。



4 SD403精査(南→) 側石のみで底敷石は無く、底面堆積土を除去すると側板と杭が露出した。SD404は地覆石の下層から側板と杭が検出された。